

令和8年度 特色ある区づくり事業 委員アイデア及び担当課の考え方一覧

【全体版】

提案者	整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
鈴木委員	1	【新規事業(新たな取り組み)に関するアイデア】 【提案の目的・課題】 【目的】 市街化ばかり注視されるが、人工物だらけの街よりも、自然が感じられる場所やその瞬間に出会えると何とも言えない安らぎと心地良さで満たされる。日々の生活で個人個人が感じる西蒲区域内での素晴らしい景色などを改めて発見して、実は「田舎＝贅沢である」と思えるほどの素晴らしいさに気付いていこう！パワースポットは身近にもある！！ 贅沢である理由 海、山、川などの自然がある。電車やバスなどある程度の交通網は整備されている。蒲原平野という田園地帯で、お米にも困らない。(お米不足の前までは、新潟のお米の美味しさ有り難さを分かっていないという・・・)これらのように、近代化・市街化では手に入れない贅沢がある。 【課題】 住民の「田舎＝ダメ、街へ出て行こう」という思考から、「好きな地元」「住むなら田舎」「自分たちが住んでいる地域なのだから、やれるだけがんばろう！（田舎だからとすぐに諦めない）」とした意識改革につなげていく必要がある。 西蒲区民は根本的に、農村部の人たちほど最初から諦めている節があるので、ちょっとしたことで「地域を変えていくことができる」とやる気を持てる意識付けに。 また、西蒲区民以外には「きれいな田舎！良い田舎具合でうらやましいな！」とPRする。 【具体的な取り組み・アイデア】 景色の良いスポット(景色や季節を感じられる場所など)にベンチや、看板(バス停みたいなのも可)を設置して、西蒲区内の美観スポットを作る。 スポットは屋外ばかりでなくても、お店の中から見える景色などでもOK。 これらのMAPを作成してスタンプラリーやSNS投稿などを促し、西蒲区を知る機会とする。 この事業を通して、「何がきれいなのか、豊なのか？」を若い世代にも知ってもらえる。 【美観・西蒲】	産業観光課	西蒲区では、4月末から10月末までの土日祝日に「観光周遊ぐる～んバス」を運行し、西蒲区や隣接する弥彦エリアの魅力的な観光スポットを巡っていただけます。 また、区公式インスタグラムではイベント情報やおすすめスポットを発信しており、写真や動画のビジュアルやストーリー性を意識することで、SNS世代の方々にも共感していただけるよう工夫しています。 さらに観光パンフレットでは、美観スポットを含む名所の紹介や周遊モデルコースを掲載し、初めて訪れる方にも楽しんでいただけるよう取り組んでいます。 一方で、美観スポットにベンチ等を設置することについては、将来的な維持管理の面も含めて慎重な検討が必要だと考えていますが、例えば、上堰潟公園では、期間限定でひまわり畑の見晴らし台設置やわらアートまつりでのライトアップなどを実施しています。 しかし、行政が主体となることができることには限りがありますので、今後は民間の皆さまのアイデアや力もお借りしたり、デジタル技術を活用しながら西蒲区の魅力をより多くの方に知っていただけるような取組を進めていきたいと考えています。
		【新規事業(新たな取り組み)に関するアイデア】 【提案の目的・課題】 西蒲区全体が高齢化なうえ、若者が流出していることで過疎化している。 【具体的な取り組み・アイデア】 若者や子育て世代などを呼び込むために、西蒲区に住む価値を見つけて、付加価値を高めることで人の増加が見込めると思う。 ある一定の期間を決めて、地域内外の人対象に西蒲区のどこかの場所で「〇〇フェス」や「〇〇大会」などを毎年行う。 ↓ 人の流れを作る。 ↓ 若者や子育て世代などを呼び込むことで西蒲区の魅力発信につながる。 ↓ 楽しければ、個々に発信してくれる。 <例> 「〇〇フェス」 湯沢町「FUJIROCK FESTIVAL」 十日町「大地の芸術祭」など 「〇〇大会」 自転車、マラソン、駅伝、ごみ拾い(スポGOMI)など		地域を活性化させ、若者の都心部への流出を防いでいくことは、重要な課題です。西蒲区においても地域の魅力をさらに周知していくことが大切であると考えています。 西蒲区では、各地域において、コミュニティ協議会や、地域の若者が中心となり、地域の特性を生かしたイベントなどが行われています。 区としましては、これら地域のイベントを西蒲区の魅力を発信できるツールとし、かつ、西蒲区の価値が高まる大切なものと考えています 引き続き、イベントなどを通じ、西蒲区の魅力が区内外に伝わるよう魅力発信に努めてまいります。
近藤（実）委員	3	【新規事業(新たな取り組み)に関するアイデア】 【提案の目的・課題】 紙ベースとLINE等を活用した防災訓練 【具体的な取り組み・アイデア】 ①地域の防災士等の協力のもと小中学生及びその家族を対象に自宅または学校から避難所までを実際に歩き、地震や津波等の災害時にどのルートなら安全に避難することができるか避難するのに危険な場所はどこか等を地図またはハザードマップに直接手書きをする。なお、実施にあたっては学校区単位とする。 ②出来上がったマップで個々人の家庭内防災計画をたてる。また、実際に出来上がったルートを歩いてみる。 ③役所は、LINE等で公式アカウントを開設し、避難勧告、避難所情報、通行止め、画像・避難所位置、危険区域等を一斉配信する。 ④避難所到着及び安否確認アンケートを実施。回答データを集計し効果測定を行う。	地域総務課	ご提案いただいたハザードマップとLINEを活用した避難訓練は、住民一人ひとりの災害に備えた事前の心構えとして、非常に有益な取り組みだと感じました。 しかしながら、「特色ある区づくり予算」では、原則として「防災分野は対象外」であることから、ご提案については今後の施策の参考とさせていただきます。 なお、区としても各ご家庭における防災意識の向上は重要と認識しており、引き続き様々な機会を捉えて周知啓発に努めていきます。

提案者	整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
池田委員	4	<p>【既存事業(令和7年度)に関するアイデア】 事業名:4ー⑨地域で支える”暮らしの足”プロジェクト</p> <p>【提案の目的・課題】 区内では運転免許を返納した一人暮らし高齢者世帯・高齢者のみ世帯が増える一方で、買い物できる店がない地域もある。</p> <p>【具体的な取り組み・アイデア】 買い物に支援が必要な方の身体状況は個人差がある。支援が必要な方の現状を把握し、支援策は複数設ける必要があるため、歩行可能な高齢者対象の「バス停等の拠点までの送迎」の他、歩行が不安定な方の「玄関までの乗り合い送迎」「移動販売の充実」、外出できない方の「ボランティアによるネット注文支援」等で多角的に支援する。</p>	健康福祉課 地域総務課	<p>(健康福祉課) ご提案の内容は、高齢者の方だけではなく自家用車を持たない区民の方共通の課題であると認識しています。買い物目的以外にも通院や通学などにおいて支援を必要としているケースもあると聞いています。 「暮らしの足プロジェクト」は地域に適した移動手段を地域の方が中心となって検討していく取組を支援するものとして、R7年度スタートした事業です。財政的支援以外にも区役所職員も検討会に参加し一緒に検討していくこととしており、この場で生まれたアイデアを参考に区役所としてできることを引き続き研究していきます。</p> <p>(地域総務課) 運転士不足などにより、バス・タクシーなどの公共交通を取り巻く状況は厳しいものとなっています。 これを受け、西蒲区では、地域が主体となって、地域に適した移動手段を検討する場合に、その費用の支援や職員派遣を行う事業(地域で支える”暮らしの足”プロジェクト)を今年度からスタートしました。 地域によって異なる課題やその解決に向けたアイデアを踏まえ、関係機関とも協力・連携しながら、地域に適した移動手段の取り組みを進めていきます。</p>
小柳委員	5	<p>【新規事業(新たな取り組み)に関するアイデア】</p> <p>【提案の目的・課題】 人手不足による繁忙期での人員確保対策</p> <p>【具体的な取り組み・アイデア】 すでに制度化されていたり、シルバー人材センターと被るかもしれませんが、スポット的に繁忙期の人員確保ができる有償ボランティア組織を整備する。</p> <p>○ボランティア組織の活用により次のような支援が考えられる</p> <p>(1)農業繁忙期(田植え、除草、果樹摘蕾や摘果、果樹や野菜の収穫・調製)作業支援 ⇒ ①特に高齢生産者の作業補完 ②作付拡大志向の生産者に対する労働力支援による生産拡大</p> <p>(2)降雪・積雪時の高齢者宅の除雪支援</p> <p>(3)その他高齢者への生活支援(買い物、通院等)</p>	産業観光課(1) 健康福祉課(2)(3)	<p>(1)農作業支援として 新潟市では、登録いただいた方が農作業のボランティアを行う「農業サポーター推進事業」(無償)と、スマートフォンアプリを活用し、園芸農家と求職者をマッチングし、有償で農作業を行う「1日農業バイトデワーク」の運用を行っています。 その他民間が運用する求人サイトなどにより、多様な働き方に柔軟に対応した農業現場への労働力確保に努めています。</p> <p>(2)(3)高齢者を対象に含むボランティア活動への支援 ●住民主体の訪問型生活支援 地域住民等のボランティアが利用者の居宅において掃除やごみ出し、買い物、雪かきなど日常の困りごとに対する支援を行うもので、市は実施主体となる団体に対し運営費補助を行っています。 「住民主体の訪問型生活支援」はより身近なところでのボランティア活動となりますが、実施団体はまだまだ充足しているとは言い難い状況です。引き続き、支え合いのしくみづくり推進員と連携し、活動団体の創設に取り組んでいきます。</p> <p><参考:社会福祉協議会の支援> ●ボランティア・市民活動センター ボランティア活動・市民活動に関するさまざまな相談や支援を行っています。 ●ボランティアの育成について 西蒲区社会福祉協議会がボランティア活動へのきっかけや必要な技術を学ぶための各種講座を開催しています。</p>
田中(久)委員	6	<p>【既存事業(令和7年度)に関するアイデア】 事業名:2ー③ようこそにしかん誘客事業</p> <p>【提案の目的・課題】 温泉街などに泊まりに来てくれる人は多いが、その前後の過ごし方がワンパターン化しているように感じる。観光客が行く場所が固定化している。</p> <p>【具体的な取り組み・アイデア】 西蒲区には、たくさんの個性的人や場所、お店があるのに全然そのようなスポットが知られていないし、訪れる観光客も少ない。隠れスポットに足を運んでもらうために「街ガチャ」のようなものを取り入れてはどうか。カプセルガチャの中に店主やスポットの情報を入れておく。ガチャにクーポンのようなものをつけておいて、訪れると何かしらの優遇が受けられる。地区を細分化して、コンプリートしたくなるような工夫をしてもよい。外から来た人はもちろん、地元の人にも知られざるスポット探しができるような、楽しみながら地域の人と交流できる仕組みができたらいいと思う。</p>	産業観光課	<p>現在、西蒲区では「にしかん観光周遊ぐる～んパス」において、フリーパスや乗車証明の提示によって沿線の31店舗で特典を受けられる仕組みや、チラシ・ホームページで観光スポットや周遊モデルコースを紹介するなど、観光客や地域の皆さまが気軽に地域を巡っていただける取組を行っています。</p> <p>また、令和6年度には「越後西蒲湯めぐり街道スタンプラリー」を実施し、区内や弥彦村の旅館・温泉施設での日帰り入浴を楽しみながらスタンプを集めることで、温泉文化の魅力を発見していただけるイベントを展開いたしました。</p> <p>今回いただいた「街ガチャ」のような仕組みは、地元の方にも新しい発見や交流のきっかけを提供できるユニークなアイデアであり、ご意見として大変参考になります。こうしたご意見も踏まえ、今後も西蒲区の認知度向上や隠れた魅力の発信に努め、観光客の方はもちろん地域の方々にも楽しんでいただける取組を検討していきます。</p>